平成二十年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査）　小学校三年　国語　解答及び配点一覧

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域に、該当する領域において、□に示したような「関心・意欲・態度」の観点を設けています。で配点しています。
また、大問2には、言語事項をまとめて出題していますが、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域においても、関連する言語事項の問題を設定しています。

大問・領域	中問	小問	番		配点	大問の計
1 話すこと聞くこと	(1)		①	**エルマー**	3	
	(2)		②	**イまたはエの片方のみ正解**	3	
	(3)		③	○　自分がすすめたい本の題名を話している。 ・**わたしは、「モチモチの木」をおすすめします。**　等	3	
			④	○　自分がすすめたい本の題名を話している。 ・**わたしは、「モチモチの木」をおすすめします。おくびょうな豆太がおじいさんを助けるために暗い夜道を走りました。**　等	5	
			⑤	○　自分がすすめたい本の題名と簡単なあらすじ、すすめる理由を加えて話している。 ・**わたしは、「モチモチの木」をおすすめします。豆太はおじいさんを助けるために、暗い夜道を走りました。豆太はゆう気があるなあと思いました。**　等	7	
	関					
	意					
	態		⑥	○　すすめたい本について話そうとしている。	2	
言語事項 2	(1)	①	⑦	**エルマーのぼうけん**	5	
		②	⑧	**イとエ両方とも正解（順不同）**	5	
		③	⑨	○　自分がすすめたい本の題名と簡単なあらすじ、すすめる理由などを、よく分かるようにくわしく話している。 ・**わたしは、「モチモチの木」をおすすめします。みなさんは、「モチモチの木」という本を知っていますか。おくびょうな豆太がおじいさんを助けるために、暗い夜道を走るところに、どきどきしました。わたしは、豆太は本当はゆう気がある子どもだと思いました。心にのこった言葉は、「人間やさしささえあれば」というおじいさんの言葉です。本当に強い人はやさしい人なんだと思いました。みなさんも読んでみてください。**　等	10	
		④	⑩	○　文末を敬体で話している。	2	
		⑤	⑪	○　問いかけや呼びかけを入れるなど、話し方を工夫して、すすめたい本のおもしろかったところが分かるように話そうとしている。	3	
	(2)	①	⑫	**ちゅうい**	1	
		②	⑬	**しゃしん**	1	
		③	⑭	**ころ**（がる）	1	
		④	⑮	**くば**（る）	1	
		⑤	⑯	**はな**（す）	1	
		①	⑰	**整**（える）	2	
		②	⑱	**役**	2	
		③	⑲	**公園**	2	
		④		**体温**	2	
		⑤		**負**（う）	2	
	(3)			**（校長先生）へ** **グループ** **がんばります。** **（順不同）** **線を引いていなくても可**	1 1 1 1	
	(4)			**ウ**	2	
						20
						25

大問・領域	中問	小問	連番	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点	大問の計
3 読むこと	(1)		⑳					
	(2)		㉑	○ おにぎりを食べなかったことを謝ろうとしている気持ちをまとめている。 ・ **おにぎりを食べなくてごめんなさい。** 等 ○ おばあちゃんに悪いことをしたという気持ちをまとめている。 ・ **おばあちゃんにひどいことをしたな。おばあちゃん、本当にごめんなさい。** 等	2 5	○ おばあちゃんの思いに気付かなかった自分のことを責める気持ちをまとめている。 ・ **おばあちゃんが、ぼくのために作ってくれたおにぎりなのに、はらを立てたり食べなかったりしてごめんなさい。** 等	8	30
	(3)		㉒	○ おばあちゃんの思いを本文の言葉を使ってまとめている。 ・ **もう、おまえの気持ちはわかったよ。むりしなくてもいいんだよ。** 等 ○ 「ぼく」の行動に対するおばあちゃんの思いを自分の言葉でまとめている。 ・ **もう、なかないでいいよ。おばあちゃんは、気にしていないよ。** 等	3 8	○ 「ぼく」の気持ちに対するおばあちゃんの思いを自分の言葉でまとめている。 ・ **そんなにかなしまなくてもいいよ。おまえの気持ちはよくわかったよ。やさしい子だね。** ・ **そんなにせきにんをかんじなくてもいいよ。おまえの気持ちはわかっているよ。** 等	12	
		関態意	㉓	○ おばちゃんの思いが分かる言葉でまとめようとしている。	2	○ おばあちゃんの思いが分かる言葉を使い、「ぼく」の気持ちにふれて話しかけるようにまとめようとしている。	5	
4 書くこと	(1)		㉔			イ	2	
			㉕			ウ	2	
	(2)	①	㉖			○ 見つけたもの ・ **すべり台** 等	1	
			㉗			○ 一番伝えたいこと ・ **すべり台の長さ** 等	2	
		②	㉘	○ 見たことについてメモを書いているが、伝えたいことの中心がはっきりしない。 ・ **長いすべり台がある。**		○ 伝えたいことの中心が分かるようにメモを書いている。 ・ **長さが三十メートルある。**	2	
			㉙	・ **すべると楽しい。** （一問につき　一点）**（順不同）** 等	1	・ **まっすぐではなく、とちゅうでぐるりと回っている。** （一問につき　二点）**（順不同）** 等	2	
		③	㉚	＊ 三つの観点について、それぞれの配点で採点する。 ○ 伝えたいことの中心を書いている。 4 ○ メモをふくらませながら書いている。 4 ○ 「まず、次に」等の順序を表す言葉を使い、二つの例を書いている。 2 （一つの場合は二点）		○ 上記三つの観点をすべて満足できるように書いている。 ・ **わたしは、校区たんけんで、とても長いすべり台を見つけました。みなさんに、そのすべり台がどんなに長いかしょうかいします。** **まず、すべり台の長さは、全部で三十メートルあります。** **次に、とちゅうでぐるりと回っているので、すべっていると目が回ります。とてもめずらしいすべり台です。** **みなさんも一度行って、すべり台で遊んでみてください。楽しいですよ。** 等	10	
		言	㉛	○ 内容のまとまりを意識して改行している。 1 ○ 誤字、脱字がなく、正しく表記している。 1		○ 内容のまとまりを意識して改行し、誤字、脱字がなく、正しく表記している。	2	
		関態意	㉜	○ メモを使って、見つけたものの様子を紹介しようとしている。	1	○ メモをもとに、読み手に分かりやすい表現を使って、見つけたものの様子を紹介しようとしている。 （例　とても長い。目が回る。めずらしい。楽しいですよ。等）	2	
								25